

「食育」という言葉から、どんなことがイメージされますか? 「食育」とは、知育・徳育及び体育の基礎となるべきものであり(出典:食育基本法)、市内の幼稚園、保育園、小・中学校では、それぞれに年間食育計画を立て実施しています。保育園では、国の指針に基づき、さまざまな活動を行っています。

今回はその中から、にこにこ保育園の「いのちの育ちと食(※指針④)」に係わる活動の様子をお伝えします。



6月のある日、5歳児さんが外で給食を食べました。

ずっと楽しみにしていた外での給食。とても気持ちよさそうでした。

やっぱり外で食べるとおいしいね!



ブルーベリーの苗を植えました。

数日後、苗にアリがついているのを発見!

「うわー、アリがついてる(T_T)」

ショック…。

「アリはね、甘いものが好きだから、きっとブルーベリーが甘くなってるんだよ」

「そうだね(*^。^*)」

ほっとしたようです。

5月から6月にかけて、3～5歳児が、カボチャ、ジャガイモ、ブロッコリーなど数種類の野菜を、園庭に数日かかりで植えました。0～2歳児は、先生たちが園庭に野菜の苗を植える様子を見たり、テラスに置かれたプランターの野菜の様子を、保育室から見たりしています。今年の野菜の種や苗は、ほとんどが園児の家庭から提供していただいたもので、「〇〇くんのおうちの△△」などの看板を作ったことで関心が高まっているようです。

先生の声

菜園活動は、3歳以上児は、ほとんどがクラス一斉の作業ですが、3歳未満児は、園庭で園児が遊ぶかわらで先生たちが作業をすることもあります。自分では出来なくても、作業の様子を見ることが意味のあることだと考えています。園で土や野菜に触れる中で、食事の楽しさやおいしさ、食べ物のいのちや、それを作る人、調理する人への感謝の気持ちを持てる人に育って欲しいと思っています。



「ジャガイモが大きくなったらどうやって食べる?」

「カレー!!」

ジャガイモを使って、カレーを食べるのを楽しみにしている子どもたちです。



にこにこ保育園では、3歳児になると4・5歳児とともにランチルームで給食を食べます。

2歳児から進級した子は、お兄さん・お姉さん気分です。苦手なものにもチャレンジしています。新入園児は、始めは少し戸惑いを見せていましたが、今ではすっかり慣れ、箸の持ち方や配膳の仕方など、ぐんぐん上手になっています!

※参考:保育所における食育に関する指針(厚生労働省)

3歳以上児の食育のねらい ①食と健康 ②食と人間関係 ③食と文化 ④いのちの育ちと食 ⑤食と料理

■問合せ:仙北市農林課 TEL(43)2206